



## 障害理由レポートの使用方法

モニタリング ノード操作が失敗した理由の完全なリストを表示および編集するには、Cisco ISE 障害理由レポートにアクセスします。操作失敗および可能な解決策のリストを表示するには、ターゲット モニタリング ノードの Cisco ISE ユーザ インターフェイスにログインし、障害理由エディタにアクセスする必要があります。



(注) Cisco ISE 障害理由に関する詳細または一般的なトラブルシューティングに関する問題については、『[Cisco Identity Services Engine User Guide, Release 1.2](#)』の「Monitoring and Troubleshooting」および「Troubleshooting Cisco ISE」を参照してください。

## 障害理由の表示

- ステップ 1** [操作 (Operations)] > [レポート (Reports)] > [認証の要約 (Authentication Summary)] レポートを選択します。
- ステップ 2** ナビゲーション パネルの [モニタリング (Monitoring)] を展開し、[障害理由エディタ (Failure Reason Editor)] を選択します。
- ステップ 3** 提供されたフィルタのリストから [障害理由 (Failure Reasons)] を選択します。
- ステップ 4** 探している障害理由を指定します。
- ステップ 5** [実行 (Run)] をクリックします。  
障害理由のリストが右側のパネルに表示されます。
- ステップ 6** 任意の障害理由をクリックして、新しいウィンドウで詳細レポートを取得します。

